

北雪時代鏡  
美談

行題曲五國島

三五編上

13  
3740  
69



門へ13  
號 3740  
頁 69

世に雲英淡阿成鏡  
云十五海の未さ  
春あり他國の海あり板

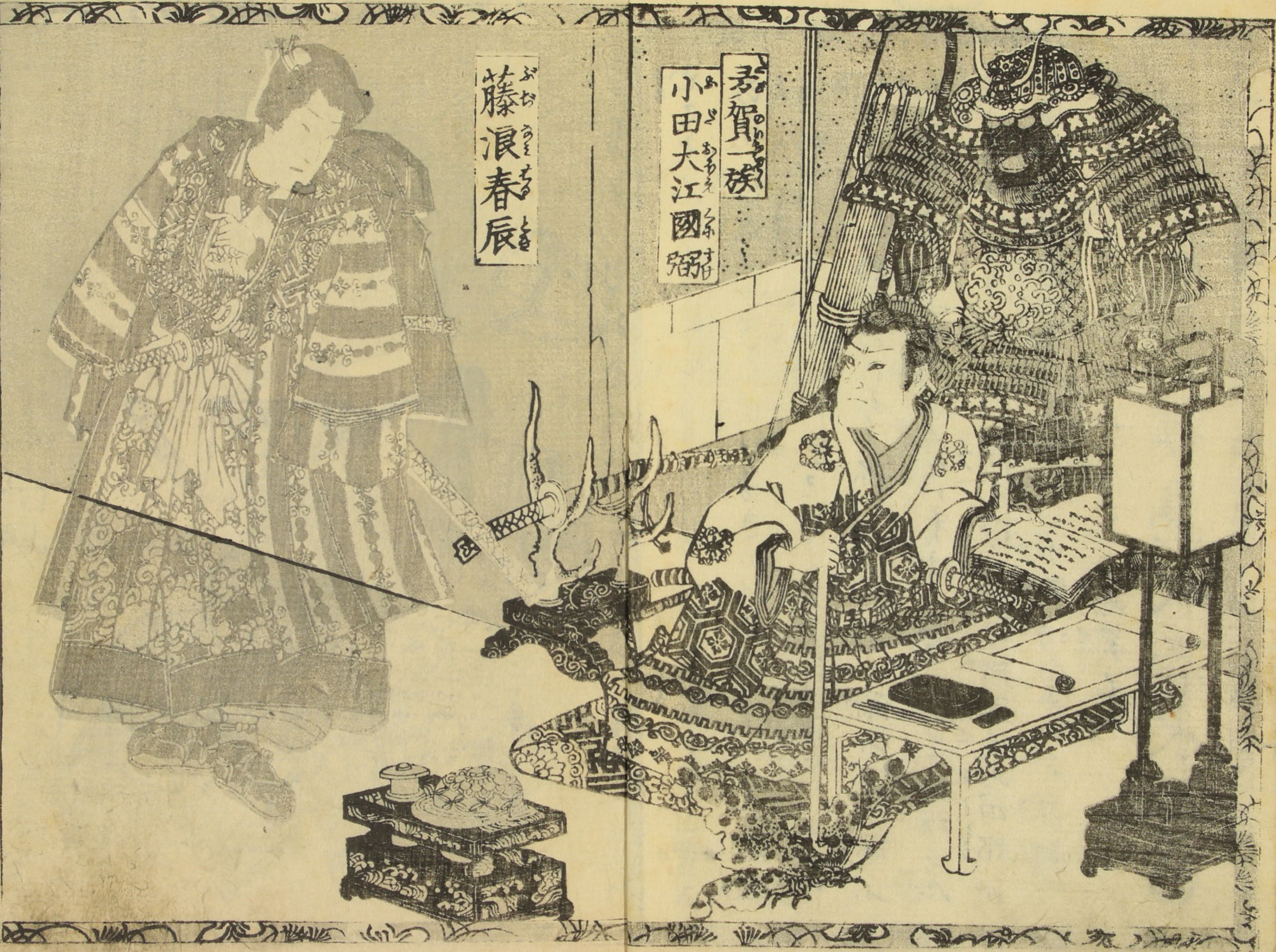
一

心こそ心こころの駒うまふ心こころもこころと實じつは  
あはれ程ほど深こほきやく。迷まよひ易やすきり此こゝの阿あ天てん此こゝ西せい郎ろうの  
貞婦てんぶと賞あやまはる。淫婦えんぶ奸夫けんぷと特とくらる。其その本心ほんしんハ一ひとあり  
阿あの明あきらる。何なにもこの明あきらる。心こころの駒うまゆると宥なだまると此こゝの阿あ天てん此こゝ西せい郎ろうの  
甚こゝろしきふのこゝろ。今いま此こゝ編ひみ願ねがふ所の阿あ天てん此こゝ西せい郎ろうの  
如ごとき何なにの童蒙どうもう心こころふんして。心こころの由よし断ことわり為なる。と真顔まがほで  
説とくくもえし心こころの老婢らうべいありと人ひとを笑わらはる。

元治二乙 丑孟春

為永春水記る

寺七三十五



藤浪春辰

君賀一族  
小田大江國









Handwritten text on the left margin of the first page.

Handwritten text on the right margin of the second page.

Small handwritten mark or character on the right margin of the second page.







あけふの夜は  
すめがたに  
けりりつと  
あつたまに  
まをさす  
しんが  
けり

あけふの夜は  
すめがたに  
けりりつと  
あつたまに  
まをさす  
しんが  
けり

あけふの夜は  
すめがたに  
けりりつと  
あつたまに  
まをさす  
しんが  
けり

あけふの夜は  
すめがたに  
けりりつと  
あつたまに  
まをさす  
しんが  
けり



あけふの夜は  
すめがたに  
けりりつと  
あつたまに  
まをさす  
しんが  
けり

あけふの夜は  
すめがたに  
けりりつと  
あつたまに  
まをさす  
しんが  
けり

あけふの夜は  
すめがたに  
けりりつと  
あつたまに  
まをさす  
しんが  
けり

あけふの夜は  
すめがたに  
けりりつと  
あつたまに  
まをさす  
しんが  
けり







